

宮成公一郎

自由民主党 大分県議会議員

竹田市
選挙区

↑一般質問の録画
映像はコチラから
(大分県議会ホームページにリンク)

2 人手不足対策について

(1) 産業人材の確保について

第1回県議会定例会は、令和6年一般会計当初予算6,898億800万円や前号で報告した「おんせん県おおいたアドベンチャーツーリズム条例」などを可決し3月27日に閉会しました。

佐藤知事となつて初めての一般会計当初予算是、新型コロナウイルス対策関連予算が大幅に減少したことを受け、昨年度（内付後）予算よりも348億円余り少ないもののコロナ禍を除くと過去最大規模となりました。また、昨年9月以来2度目となる一般質問を行つたので、執行部答弁に対して述べた意見と併せて、本号では当初予算の主な事業概要を報告します。



(2) 外国人労働者の受入環境整備について

外国人から見放される日本とならないよう、「外国人に選ばれる大分県」となるよう、互いの文化、多様性を尊重しあえる社会を築いていくための取り組みを進めていただきたい。

3 農産研究部の機能強化について

若い畜産農家が希望をもつて生産に取り組めるよう、市場価格の低迷が続く今、研究施設の更新を控えているこの機会に、本県の畜産経営の方向性を改めて整理する必要があるのでないか。

4 県職員の採用試験について

県職員は県政の個別施策や事業を推進するために重要な役割を担うが、優秀な職員の確保に向けて採用試験の在り方に今後も様々な工夫をこらしていただきたい。

1 安心・安全な暮らしについて

1 安心・安全な暮らしについて

(1) 災害に備えた関係機関の連携強化について
災害が発生した後でも大分県内に住み続けることができるよう、県や市町村、関係機関のより一層の連携に向けた検討を続けていただきたい。

(2) 住宅確保要配慮者への支援について
住宅行政と福祉行政とが強く連携する中で、高齢者や障がい者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者への支援に今後も取り組んでいただきたい。

(3) 里親等委託の推進について

出生数が著しく減る中、安心して子どもを産み育てることができるよう、経済的支援だけでなく精神的な支援を行いながら、里親等の周知等に取り組んでいただきたい。

2 初予算

2 初予算

県土強靭化関連公共事業

268億9,531万円

治水ダム建設事業、広域河川改修事業、急傾斜地崩壊対策事業、道路防災事業等のほか、防災重点農業用ため池等整備事業として「大谷ダム(竹田市)」の耐震化等を実施。

こども医療費助成事業

13億511万円

子育て家庭の経済的負担を軽減し、こどもたちの健康保持と健全育成を図るため、入院・通院医療費の助成対象に高校生を追加し、竹田市などの市町村に助成。

ヤングケアラー等支援体制強化事業

4,524万円

小学5年生から高校3年生を対象とした実態調査、専門アドバイザーの配置、戸別訪問による家庭状況の把握等を行う市町村への助成等、市町村と連携した見守り・相談体制を構築。

医療的ケア児等支援推進事業

3,432万円

一時預かり等を目的とした保険適用外の訪問看護利用への助成、医療的ケア児支援センターによる相談体制の充実、在宅で看護等を行う家族の負担を軽減等を実施。

訪問看護強化事業

2,159万円

がこの先に産業界でございました。訪問ステーションの看護師育成に必要な経費助成、機能強化型訪問看護ステーションへの移行を支援するアドバイザーの派遣、訪問看護ステーション紹介のWEBガイドの実施等。

、「外國化、多様化組みを

組めるよ
新を控え
を改めて
ために重
て採用試
ときたい。

18億6,415万円
県・市の計画に基づく短期集中県域支援品目（ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツ）及び产地拡大推進品目の栽培施設の整備等について、認定農業者等に対する支援。

おおいた園芸産地づくり支援事業

5億7,31万円

水産資源の保護や、海や河川の環境保全の大切さを國民に訴えるとともに漁業の振興と発展を図るため、第43回全国豊かな海づくり大会（11月9日㈯～10日㈰）及び関連行事を開催。

全国豊かな海づくり大会開催事業

1億7,449万円

デステイネーションキャンペーンに関連し、JR九州や福岡県と連動したプロモーションの実施、「おんせん県おおいたファン（仮称）」の創設等、継続的・総合的な誘客対策を実施。

中小企業金融対策費

685億1,353万円

県内中小企業の資金繰りを支援するため、県制度資

傾斜地崩
災農業用
の耐震

国内誘客総合推進事業

1億7,449万円

仙台市南蒲生浄化センター 東日本大震災当時の生活排水処理の状況と復興について調査・意見交換



福祉保健環境調査会 1月22日～24日

宮城県仙台市南蒲生浄化センター
宮城県庁・宮城県歯科医師会



宮城県歯科医師会
震災時の歯科医療の提供体制と東日本大震災を踏まえた平時の準備態勢について調査・意見交換

九州中央3県（熊本・大分・宮崎）議員連盟 1月26日～27日

熊本市



県域を超えた行政課題の解決に向けて37名の県議で構成。次回開催県は大分県



福岡市
福岡県からウエルビーイング条例（人間と動物と環境の健康の上に地球の健康）の紹介

佐藤知事とのふれあいトーク 2月8日

竹田市



NPO里山保全竹活用百人委員会と丸山自治会の皆さんと意見交換

金を運営し、民間金融機関や政府系金融機関による金融を補完する。県の各種支援策と一緒に利用する際に有利となる融資制度の創設。

企業立地促進事業等

27億2,458万円

大規模案件を含む工業団地整備に向けた適地調査、市町村が行う工業団地適地調査等への助成（3か年対策）等、誘致企業の設備投資・雇用創出に助成し戦略的・効果的に企業を誘致。

学校部活動改革サポート事業等

9,644万円

教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員（177人）を配置するとともに、総合型地域スポーツクラブや文化団体等と連携した地域移行等への取組み。

